

平成16年度第7回尾張旭市交通問題懇話会

1 開催日時

平成16年10月25日（月）

開会 午前10時

閉会 午後12時10分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 講堂1

3 出席者名

会長：加藤哲男 副会長：黒田鉦司

構成員：大澤一夫、荻原善夫、奥野昌明、加藤桃代、苅谷勝、近藤重男、
櫻井栄二、田中悦子、田中さゆり、寺田千珠子、戸松秀男、
服部正勝、林喜一、日比野正夫

顧問：伊豆原浩二

事務局：加藤和人、秋田誠、長江均、森重憲、森純子、大和弘明

4 議題等

- (1) 第6回交通問題懇話会会議概要の確認について
- (2) 試験運行の活性化策（利用促進・収益向上・啓発）について
- (3) その他

5 会議の要旨

(1) 第6回交通問題懇話会会議概要の確認について

(事務局)

第5回懇話会後の事務局整理事項を第6回懇話会会議概要の冒頭部分に掲載をさせてもらった。

(一同)

異議なし。ホームページに掲載することを了承。

(2) 試験運行の活性化策（利用促進・収益向上・啓発）について

(事務局)

12月から試験運行が始まるが、できるだけ多くの方に利用してもらいたい。そこで、利用促進、収益向上、啓発について、グループ毎に話し合ってもらい、発表をしていただきたい。その際、誰が何をといった部分を明確にしてもらいたい。

(構成員)

市の行うべきことも書くのか。

(会長)

そういった部分もぜひ書いてもらいたい。

(構成員)

市は連合自治会長に説明する意思があるのか、ないのか。懇話会に出席している我々だけに任せるという形で良いのか。市が説明をしてから我々が説明するのなら納得するが。

(事務局)

連合自治会長会議において説明をする考えは持っている。

(構成員)

他の連合会長にもしっかり説明をしておいてもらいたい。

(会長)

グループワークにはいろいろな意見が出てきた方がよいと思う。

(構成員)

利用促進や収益向上は繋がりのある部分だが、ここで敢えて線を引いてあるのは何か意図があるのか。

(顧問)

後で整理すればよいことなので、どれがどれとあまり考えず、まずは大事だなどと思うことを意見として出していけばよい。運行するまでにやること、運行してからやることなど、時間がない中いろいろやることはあると思われる。

(構成員)

現在の状況がよくわからない。12月の運行なので、もう運行業者との契約など決まっていると思われるが、現状を知らせてもらいたい。

(事務局)

今月中に業者選定を行う。また、のりばの設置については道路占用等の申請を現在行っているところです。

(構成員)

今月中に業者が決まるということで良いのか。もう既にある程度候補があってその中から決めるということか。

(事務局)

今月中に業者を決めたい。

(会長)

本日、後で説明があると思われるが、皆が気になる時刻表と停留所について先に説明してもらった方がよいと思われる。

(事務局)

西ルート、東ルート、南ルートののりばについて説明。

のりばの名称について、今回は地名や公共施設名を優先につけていくことで考えている。のりば表示についてはコストを抑えるため、電柱やガードパイプに取付ける方法を中心にして、場所がないところは路線バス業者が設置するような「ひまわり型」を考えている。

(会長)

議題の順番を変えさせてもらったが、これから40分間グループ作業をしてもらいたいと思う。

(顧問)

検討内容は結果的に利用促進策になるとよい。運行開始までに何をやるかなどを考えてもらえればよい。

<西ルートの発表>

- ・啓発を主に行っていく。マスコミなども活用する。
- ・大型スーパーの前で机を置いて、市民にPRできる形を考えたらどうか。
- ・回数券を発行すれば収益が増す。
- ・評価の面でアンケートを行う。車内、公共施設に設置し、地域の各回覧版に付けて記入してもらうのも一つの方法である。
- ・ドライバーに接客マナーをしっかりとってもらうために、行政からしっかり指導を行う。
- ・グループインタビューによって市民の本音を聞く。
- ・市民向けの講演会を試験運行を始めるとき、本格運行に移るときの一つのイベントとして行うのはどうか。

- ・定員オーバーを目標に構成員は毎週何回か乗る。
- ・懇話会と事務局との協働でやっていきたい。

<東ルートの発表>

- ・連合自治会長へは市が説明を行う。シニアクラブ等他の団体へは懇話会の構成員が行ってもよいのではないか。
- ・公民館等へはポスターを掲示し、広報の内容は市民に簡単に説明できるような記事にしてもらいたい。
- ・停留所へ企業名を出して広告料をもらうことが増収に繋がる。
- ・名鉄瀬戸線の4駅に広報する。
- ・ケーブルテレビに依頼する。
- ・無料の試乗券を配布してはどうか。
- ・愛称を公募して市民に親しまれるようにしたい。
- ・走る広告塔（公用車）でPRしてもらいたい。
- ・乗車定員オーバーの時の対応についてもPRしてもらいたい。
- ・試験運行中の車体は目立つものにしてほしい。

<南ルートの発表>

- ・PR用の回覧版を地域に回してもらう。
- ・試乗券を1回無料で配布する。
- ・朝晩もう一便増やしてはどうか。
- ・公民館便りに記事を掲載してもらう。
- ・子ども会を利用する。
- ・スポンサーを付ける。
- ・お年寄りに分かるようにPRする。
- ・大型スーパーなどに回数券を販売してもらう。
- ・停留所になるところに大きめなPRポスターを貼っておく。
- ・停留所の名称をわかりやすいものにした方がよい。
- ・車両に拡声器を付けて、停留所に来たことを知らせるようにしてはどうか。
- ・防災行政無線を利用してはどうか。

(会長)

行政がしっかりやることによって構成員もそれをきっかけに大いに手伝わせていただくという共通の意見があったように思う。停留所の名称については、企業名を入れて収益を得てはどうか。それが今できないという行政側の説明を聞きたい。

(構成員)

鳥居というのはもっと南という地域の感覚があるので、ユースストアならユースストア北でよいのではないか。

(事務局)

企業名を入れて広告料を徴収するという意見と、特定の企業名を付けるのはいかがなものかという2つの意見がある。今回は個人名称を避けてスタートするが、将来については広告収入を考えていく予定でいる。スーパーの敷地内への入り込みについても併せて検討していきたい。まずは一般的な地名でスタートするというのが市の考えである。

(会長)

現時点では難しいが、今後は受け入れられると考えてよいのか。

(事務局)

もちろん実現できるように努力していく。

(構成員)

車両が音楽を流しながら走るというアイデアは非常にわかりやすく、いいアイデアである。

(顧問)

いろいろ制約があるので、音楽を流しながら走行することについては、運輸局と協議しないと良いかどうかはわからない。

(構成員)

車内放送を考えてみてもどうか。

(構成員)

車の塗装は難しいと思うので、大きなマグネット式で行えばいいと思う。

(会長)

広報についてもスケジュールがあるので、すぐにどうこうするという風にはならないと思うが。

(事務局)

広報の紙面にも限りがあるので、折込チラシという形で対応するよう考えて

いる。

(構成員)

PR の段階で停留所名について地名のあとに括弧でバローとかアカバネショップと入れてもらうよう検討してもらいたい。

(構成員)

時刻表なら時刻表単独でほしい。スーパーならスーパーでの時刻表をスーパーで作らせてもいいのではないか。

(会長)

行政の立場では難しい事でも、ワンクッションおいて市民の組織でならやっ
ていける事もあるだろうから、そういう組織の受け皿の対応方策を懇話会で作
ってみることも考えられる。

(構成員)

大賛成である。停留所の設置についても行政で行うと難しい場合もあるかも
しれないが、そうした場合は市民でやった方がうまくいく場合も考えられる。

(構成員)

行政と市民との協働が大事である。スーパーの前でPR することでも誰かが何
時から何時までというふうに、当番制で行ってもよいのではないか。

(構成員)

車体についてもデザインを公募して、ある期間ごとに交代していくと親し
みが湧くのではないか。

(会長)

いいものをどんどん取り入れていくのがよい。

(構成員)

試行期間中ずっとマグネットを貼っておくと、車体に日焼けが生じるのでそ
の辺は難しい。

(構成員)

ルートと簡単な時刻表を自分たちで手分けして病院やお店に貼らせてもら
ったらどうか。

(構成員)

市から懇話会へ要請があればやるし、全てを任してもらえらなら自分たちでやっていくし、市からあれこれやっては困ると言われれば指示を仰ぐが、今のままでは何をやってもいいのかが分からない。市で啓発に関することがらをまとめて提示してもらってはどうか。

(構成員)

次回までにルート毎でポスターをどこに貼るかを決めてきてはどうか。

(3) その他

(事務局)

今回は11月16日(火)10時から201会議室で行う。評価方法についての意見をいただきたいと思っている。また、試験運行に係ることについても固まった内容を示していきたい。

(会長)

今回は11月16日開催なので、11月15日号広報が出てすぐということ非常にタイミングが良く、16日以降の広報活動を実施に移せる。

(事務局)

11月15日以降の広報活動については、許認可の関係で運行開始の正確な日にちが現時点では決まっていないので、その辺が流動的であることはご理解いただきたい。

(会長)

次回までに状況を説明してもらいたいし、運行時期が変更になるのなら早急に懇話会の皆様に知らせてもらいたい。

(顧問)

運輸関係の許可申請についても早急に行っていただきたい。